

厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（2025年12月23日）

厚生労働省は令和6年（2024年）医師・歯科医師・薬剤師統計の概況を公表しました。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/index.html>

概況（PDF）

[https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/dl/R06\\_1gaikyo.pdf](https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/dl/R06_1gaikyo.pdf)

#### 〔薬剤師の概要（増減はすべて2022年との比較）〕

=人数=

- ・全国の届出「薬剤師数」は329,045人で、5,355人、1.7%増加
- ・男女別では、「男」125,066人（38.0%）、「女」203,979人（62.0%）

=施設・業務=

- ・「薬局の従事者」は197,437人（60.0%）で、6,702人、3.5%増加
- ・「医療施設の従事者」は63,290人（19.2%）で、827人、1.3%増加  
　　そのうち、「病院の従事者」は57,595人（17.5%）で、1.8%の増加  
　　「診療所の従事者」は5,695人（1.7%）で、3.1%の減少
- ・「介護保険施設の従事者」は1,217人（0.4%）で、11.5%の増加  
　　そのうち、「介護老人保健施設の勤務者」は1,049人（0.3%）で、9.4%の増加  
　　「介護医療院の勤務者」は168人（0.1%）で、27.3%の増加
- ・「大学の従事者」は5,011人（1.5%）で、2.2%の増加
- ・「医薬品関係企業の従事者」は34,184人で、2,902人（7.8%）減少
- ・「衛生行政機関又は保健衛生施設の従事者」は6,906人で、21人（0.3%）減少
- ・年次推移でみると、「薬局」は大幅に増加しており、「医療施設」は増加傾向が続く

=性・年齢階級別=

- ・薬局・医療施設に従事する薬剤師を性別にみると、「男」が91,090人で、2,711人（3.1%）増加し、「女」は169,637人で、4,818人（2.9%）増加
- ・年齢階級別にみると、「30～39歳」が69,367人（26.6%）と最も多く、次いで「40～49歳」58,674人（22.5%）
- ・性別にみると、男女とも「30～39歳」（男30.8%、女24.3%）が最も多い

=都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口10万対薬剤師数=

- ・薬局・医療施設に従事する人口10万対薬剤師数は210.6で、前回（202.6）に比べ8.0增加している。
- ・都道府県（従業地）別にみると、徳島県が256.6と最も多く、次いで兵庫県245.6、東京都240.3となっている  
　　・沖縄県が155.3と最も少なく、次いで、福井県170.4、青森県175.5となっている。